

障がいのある子どもたちの地域生活支援 ～子どもの育ちに大切な支援を考える～



11月20日はかわさき子どもの権利の日

20回目を迎えたフォーラムでは、今年も様々な立場の人が集まって、障がいのある子どもたち、特別な配慮が必要な子どもたちの育ちに必要な支援について考えます。今回のテーマは「家庭支援」です。子どもへの様々な支援が増えているにも関わらず、子どもや親の悩みは増しているのではないのでしょうか？ 幼児期～成人期に於ける当事者とそのご家族の支援に、長年にわたり携わってこられた方々の報告を聞き、子どもを取り巻く最近の家庭状況と家庭支援のあり方について、みなさんで考えてみましょう。

日時

11月12日(土)

13:30～16:15 (13:15からzoom接続可能)

会場

Zoomによるオンライン

参加費

無料

申込み方法詳細は裏面をご確認下さい。 **締切11月5日**

内容

「パパ・ママ・子ども 丸ごと支援
～幼児期から成人まで～」

- I 栗原 敦子 氏 (療育相談・子ども相談室 でんでん虫)
【相談事例から考える家庭支援】
- II 林 茂雄 氏 (川崎市中央療育センター センター長)
【入所施設から考える家庭支援】
- III 質疑応答&意見交流 (参加自由)

※内容は一部変更になる
ことがあります。

お申込み
お問い合わせ

豊かな地域療育を考える連絡会事務局 (担当:七川)

TEL 044-455-7468 FAX 044-455-7498

MAIL yutakanaryoiku@gmail.com

保護者様はじめ、どなたでもご参加いただけます！

【報告者のプロフィール】

社会福祉法人なごみ福祉会
療育相談・子ども相談室でんでん虫
保育士・相談専門員

栗原 敦子 氏

でんでん虫が始まり42年目。障害の有無、種別、年齢に関わらずに『待たせない、断らない、期限を切らない』を理念に相談者を孤立させないことを大切に取り組んでいます。「誰に？何処へ？相談先がわからない」段階から相談を受けています。

社会福祉法人 同愛会福祉会 理事
川崎市中央療育センター センター長

林 茂雄 氏

川崎市しいのき学園から同愛会に移管されて来春で10年が経ちます。川崎市内唯一の知的障害児入所施設としてますます地域における役割が求められています。生きる土台をつくる大切な時期に何ができるのか、子どもと家族の人生支援を考えていきます。



【お申し込み方法について】

いずれかの方法で参加のお申し込みをお願いします。

- ①右記QRコードを読み取り申込み
- ②事務局までメールかFAXで申込み
 - ・参加者のお名前
 - ・参加者のご所属（例：保護者〔お子様の年齢〕・支援者・学生・その他など）
 - ・テーマに関して質問やご意見など
 - ・ご連絡先（Eメール）
 - ・ご連絡先（電話）・・・（メールが届かない等ご連絡します）

参加申込みQRコード



11月20日はかわさき子どもの権利の日

※オンラインでの参加が難しい方は、配信会場（川崎市生涯学習プラザ）にて参加可能ですのでご相談ください

【Zoom参加に当たってのお願い】

改めてZoom参加方法についてのメールを配信致します。
11/9までにzoomアクセスURL送付します。届かない方は前日までにご連絡ください。

事前のZoomアプリインストール準備をお願い致します。
初めてZoomを利用する方など、事前に接続や音声を確認したい方、事務局にて対応いたしますので、遠慮なくご相談ください。

お申込み
お問い合わせ

豊かな地域療育を考える連絡会事務局（担当：七川）

TEL 044-455-7468 FAX 044-455-7498

メール yutakanaryoiku@gmail.com

